令和６年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

御嵩町青少年育成町民会議

御嵩町としての青少年育成

御嵩町の青少年育成町民会議は、町内の４地区からの代表である理事と推進員、各種団体からの評議員、自治会からの地区推進員から構成されています。その組織の中で、推進員が企画運営と活動の中心となり、「育てよう青少年　つくろう安全安心な町」をテーマにして評議員、地区推進員が活動をしています。いろいろな活動の中から、以下の２つの活動について紹介します。

1、『御嵩町少年の主張大会』の開催

御嵩町は、小学生・中学生・高校生の３校種からの代表が、町民に向けて自分の思いを発表しています。今年度も小学生６名、中学生６名、高校生２名の１４名の児童生徒が、自分の身の回りの出来事や社会問題をテーマに、１５０名を超える来場者に自分の思いを話すことができました。

最優秀賞の小学生は『インターネット詐欺の危険』というタイトルでネットの危険性とそれを防ぐ工夫を、中学生は『病気も障がいも全て個性』というタイトルで自身の障がいと家族の支えについて堂々と伝えることができました。

来場者からは、「一人一人の発表は、その子だからこそ話せる内容で、とても心に響きました。自ら体験したこと、自ら行動に移したことに基づいた主張であったことがすばらしかったと思います。」という感想があり、大変好評でした。

2、『青少年育成町民大会・郡 PTA 研究大会』の開催

御嵩町では、青少年育成町民会議主催の『町民大会』と、可児郡 PTA 連合会主催の『研究大会』を併せて開催しました。　内容は次の３つでした。

（１）青少年育成功労者・笑顔づくり標語入賞者の表彰

長年、児童生徒の登校時の見守りをしてくださった方々の表彰と、いじめのない学校生活を啓発するための優秀な標語を応募した児童生徒を表彰しました。

（２）上之郷中学校 PTA 活動の実践発表

長い歴史のある茶園活動を通しての、生徒と保護者、学校職員、保護者 OB、公民館や地域住民との協働活動をテーマに発表されました。また、上之郷中学校生徒が来場し、学校の茶園で採れた舳五山茶の試飲の提供も併せて行われました。

（３）青少年育成講話

部活動の社会人指導者であり、学校の PTA 役員や地域の商工会会長などを歴任された講師より、地域住民として、子どもの周りの大人として、“支える立場”だけでなく“支えられる立場”も大切な存在であることを軸として講話をされました。

来場者からは、「PTA 活動の発表では、お茶づくりを通して地域、親、生徒が一体になって活動することで、お互いが成長している点がすばらしいと思います。講話では、人のために…と活動してきたことが、結局自分の成長につながったという言葉が印象的でした。PTA 活動、議員活動、吹奏楽等、様々なお話の中で、今の様々な課題を解決するヒントが得られたように思いました。支える側も支えられる側もどちらも意味があることを学びました。」という感想をいただきました。